

各 位

平成15年4月25日

会 社 名 長野日本無線株式会社
代表者の 代表取締役社長
役職氏名 田 中 章 博
(コード番号 6878 東証第2部)
問合せ先 取締役総務本部長
若 狭 市 博
企画広報室
(電話番号 026-285-1205)

平成15年3月期業績予想の修正及び特別損失の計上について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年11月6日の中間決算発表時に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 平成15年3月期連結通期業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年11月6日発表)	47,500	700	1,500
今回修正予想(B)	43,900	2,000	6,000
増減額(B - A)	3,600	1,300	4,500
増減率	7.6	-	-
前期(平成14年3月期)実績	52,039	3,568	5,370

(2) 平成15年3月期通期業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年11月6日発表)	42,000	1,000	1,800
今回修正予想(B)	39,200	1,800	5,800
増減額(B - A)	2,800	800	4,000
増減率	6.7	-	-
前期(平成14年3月期)実績	46,089	3,628	5,371

2. 業績予想修正の理由

国内景気の低迷が続く中、当社を取り巻く経営環境は依然として厳しく、主要顧客への売上の減により、売上高は当初の計画を下回る見込みとなりました。

このため、経常損失は、当初予想に対して大幅に増加する見込みとなりました。

費用につきましては、固定費削減はほぼ予算を達成できたものの、変動費削減につきましては予算を達成することができませんでした。

また経営再建計画の一環として、事業内容の見直しを行い、不採算機種の整理などを行った結果、これに伴う特別損失が多額に計上されました。

これに加えて、スイスフラン建転換社債の為替評価替えにより、当期純損失でも当初予想に対して大幅に増加する見込みとなりました。

3. 特別損失の計上について

当社は、平成15年3月期決算（単体）において、特別損失を計上する見込みであります。

主なものは、次のとおりであります。

(1) 事業整理損失	1,748百万円
(2) 転換社債に係る為替差損	693百万円
(3) 退職給付会計基準変更時差異処理額	675百万円
(4) 転換社債割増償還損失引当金繰入額	122百万円

4. 経営再建計画について

現在、経営再建計画の見直しを行っており、5月上旬迄に公表する予定であります。

以上

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。
--